

## 第1回厚生省心身障害研究班超音波分科会議事録

分科会長 前田 一雄

日時：昭和53年7月16日

場所：東京駅鉄道会館ルビーホール

出席者：清水哲也，高林俊文，竹内久彌，原 量宏，穂垣正暢，諸橋 侃，井出正男，竹村 晃，関場 香，  
丹羽国泰，赤松信雄，千葉喜英，前田一雄，寺原賢人，津崎恒明，長谷川利典

議事：

1. 分科会長挨拶

2. 東北大（高林）

パルス波照射装置の設置が遅れているため連続波による検討を加えた。C<sub>3</sub>Hマウスにおける脳の組織学的検討を加えた。また、Doppler による疫学的検討を加えたが対照群間には有意差は認めなかった。

3. 都立大塚（穂垣）

電子スキャンにおけるまわし電極が、画像にゴーストを生じさせる。これを改良することは、出力を低下させることになる。

4. 大阪大（竹村）

電子スキャンを用いてヒト赤血球の照射実験をした結果、赤血球の変形並びに溶血を認めたが熱作用の検討が必要と思われる。

5. 岡山大（赤松）

パルス波臨床用装置を用いて、ラットの着床前胚に照射し再びラット子宮内にもどし、胎仔を検討した結果、パルス波による影響は認めなかった。

6. 旭川大（清水）

DHS系マウスを用いて検討中であるがパルス波照射装置が遅れているため、SSD-2C, USI-2Eを用いて実験中である。

7. 東京大（原）

Doppler 装置を使用した昭和41～49年に出生した疫学調査を行ったが、対照群間には有意差を認めなかった。パルス波については現在調査中である。

8. 鳥取大（津崎）

連続波照射装置を改造してパルス波照射装置の作製を試みた。

9. 順天堂大（竹内）

疫学調査の進行状況について報告があった。

10. 慶応大（諸橋）

音響強度を下げた電子スキャンを用いて超音波断層像の立体視について試作中である。

11. 武蔵工大（井出）

本分科会で使用するパルス波照射装置の統一を検討した。今後は統一仕様による照射装置を準備されたい。

## 第2回厚生省心身障害研究班超音波分科会議事録

分科会長 前田 一 雄

日 時 : 昭和54年2月23日 午後2時

場 所 : 東京駅鉄道会館ルビーホール

出席者 : 丹羽国泰, 赤松信雄, 千葉喜英, 清水哲也, 田中邦雄, 諸橋 侃, 高林俊文, 竹内久彌, 原 量宏,  
箕浦茂樹, 井出正男, 穂垣正暢, 前田一雄, 寺原賢人, 津崎恒明

議 事 :

1. 分科会長挨拶
2. 分担研究者故竹村晃氏の代りを大阪大学産科婦人科学教授・倉智敬一氏とすることを承認
3. 事務連絡  
高林俊文氏より会計報告書及び研究報告書, ならびに製本用原稿を3月24日までに分科会長まで提出の旨依頼
4. 日米超音波学会合同カンファレンス報告 前田一雄
5. 研究進行状況報告
  - (1) 慶応大(諸橋)  
低出力診断装置による診断情報拡大について報告。
  - (2) 順天堂大(竹内)  
プローベの改良について報告。
  - (3) 武蔵工大(井出)  
実験用照射装置の設計について報告。
  - (4) 旭川医大(清水)  
chinese hamsterを用いた照射実験結果について報告
  - (5) 東北大(高林)  
C<sub>3</sub>Hマウスに5種類の実験条件で照射を行った結果について報告。
  - (6) 東京大(原)  
欧州超音波会議の報告。超音波パルス波照射例における新生児の検討結果報告。
  - (7) 都立大塚(穂垣)  
まわし電極, backing 等による探触子の改良について報告。
  - (8) 大阪大(千葉)  
超音波パルス波のヒト赤血球に対する影響を走査電顕で検討した結果について報告。
  - (9) 岡山大(赤松)  
受精卵への影響について, 30mw/cm<sup>2</sup>では有意差なしと報告。
  - (10) 順天堂大(竹内)  
疫学調査の経過報告。
  - (11) 鳥取大(津崎)  
培養細胞増殖に及ぼす影響について報告。